

く別院だよりく

モダン寺新聞

第44号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
〒650-0011
神戸市中央区下山手通八丁目一番一号
TEL 078-341-5949

伝灯奉告法要、ご修行

スローガンは「うけつぐ伝灯伝えるよろこび」

本年10月より、ついに「伝灯奉告法要」がおつとまりになります。「伝灯奉告法要」とは、浄土真宗本願寺派のご門主様が、第24代即如上人から第25代専如上人へ「浄土真宗のみ教え」（法灯）が継承されたこと（伝灯）を仏祖の御前に告げる（奉告）とともに、この法要を機縁として、お念仏を広め、よりたくさんの方々にご参拝いただくことを期してお勤めされる大切なご法要です。

電話075-371-5181。

昨年12月、法要に先駆け、スローガン「うけつぐ伝灯伝えるよろこび」が定められました。このたびのご勝縁でお念仏のみ教えがさらに広く伝わることへの願いが込められています。

また、今年2月には伝灯奉告法要の「伝」という字の象形文字に伝灯の「灯」を加えたデザインのロゴマークも決定。いよいよ伝灯奉告法要への機運が高まってまいりました。

法要は京都の西本願寺で、平成28年秋から29年春にかけて1日1座、80日間勤められます。

いずれも14時からとなっております。法要後16時30分からは、浄土真宗の門徒として心を新たにし、ご法名をいただく「帰敬式」も予定されています。（※帰敬式は事前の申し込みが必要となります。詳しくは京都・西本願寺まで。

▽伝灯奉告法要のロゴマーク



伝灯奉告法要についての消息

去る平成26年6月6日、前門主の跡を承けて法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主として務めてまいりました。ここに法統継承を仏祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展とを期して、平成28年および29年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。

阿弥陀如来のご本願は、あらゆる存在を分け隔てなくそのまま救おうとはたらきかけていてくださいます。迷いと苦悩をかかえる私たちは、阿弥陀如来のお慈悲ひとすじにこの身を任せ、真実のさとりの世界であるお浄土に生まれていくべき身にならせていただきます。宗祖親鸞聖人が「そらごとたわごと」とお示しくださった私たち自身を含む迷いの世界は、何一つとしてたよりになるものではありませんが、ご本願のはたらきの中に生きる私たちは、確かな依りどころを持つことができます。

科学技術の発達による便利で豊かな生活の追求や欲望の肥大化はとどまることを知りませんが、人々は、そのような豊かさのみを追求することの虚しさに気づきはじめていたのではないのでしょうか。しかも、核家族化・人口の流動化などによって社会構造は大きく変化し、人間関係は希薄となり新たな悩みや不安を生み出しています。さらに世界に眼を移せば、武力紛争、経済格差、気候変動、核物質の拡散など、人類の生存に関わる課題が露呈しています。これらの傾向は今後一層強くなっていくことと思います。

私たちは、凡愚のまま摸め取って捨てないとはたらき続けていてくださる阿弥陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難さ尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。まさにこのような営みの先にこそ、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」道が拓かれていくのでありましょう。

このたびのご法要が、親鸞聖人によって明らかにされた阿弥陀如来の救いのはたらきに依りながら、時代の変化に対応する宗門の新たな第一歩として意義を持つものでありたいと思います。宗門では、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年に向けて新たな長期計画が策定されます。皆様の積極的なご協力とご参画を心から願いたします。

平成27年

1月16日

2015年

龍谷門主 釋 専 如

あの日を思い、手を合わせる

阪神淡路大震災物故者総追悼法要

1995年1月17日未明に発生した阪神・淡路大震災。今年も震災の物故者を追悼する法要が、1月17日（日）神戸別院で修行されました。

満堂になった本堂で200名を超える参拝者が忘れえぬあの日を思い、仏前に手を合わせました。

「いのち」を見つめる作文朗読では、神戸龍谷中学校田淵美樹さん、神戸国際中学校中桐涼さん、神戸龍谷高等学校森田理紗さん、須磨ノ浦高等学校

校廣岡萌さん、兵庫大学短期大学部坂東奈摘さんの5名の「いのちについて今、私が思うこと」をテーマにした作文が朗読されました。

ご法話は阪神東組最光寺杉本照顕師。杉本師は、自らの震災時の体験をもとに、「お念仏を申す日暮らしを送る。それが私たちを「仏」に仕立ててくださる、阿弥陀さまへのご恩報謝になる」と話されました。

最後は、東九州龍谷高等学校宗教部・聖歌隊のナムナムガールズの公演で、「仏教」との向き合い方、「お念仏」のよるこびを歌や踊り、演劇を通して伝え、明るく締めくくられました。



200人を超える参拝者が一斉に手を合わせた



ナムナムガールズが元気一杯に公演

3月の法座より

3月の常例法座（3月15日、3月16日開催）のご講師は、神姫組常德寺森川晋乗師でした。

両親を亡くし、叔父夫婦のところに預けられた少年が、その叔父夫婦の無償の愛情によって変わっていくというお話の中で、「阿弥陀如来という仏さまは、この私のことを救うと仰っている。救うというのは死んでから救うのではなく、先のお話に出てくる叔父さんが、甥に対して「家賃を払え」なんて一言も言わないように、阿弥陀さまもまた、『今のお前のすべて、わしが全部、責任を持ってやる』と何の対価もなしに、私たちにに向けて名告り出てくださいているのです。

この親の名告り、阿弥陀さまのお喚び声こそが「南無阿弥陀仏」なのだとお話しになりました。

最後に、「南無阿弥陀仏、心一つに、味二つ。親の喚び声、子の慕う声」という句を紹介され、お念仏とは、阿弥陀さまからのお喚び声であると同時に、私たちが阿弥陀さまを慕う声でもあるのだとおとりつき下さいました。

（編集抜粋）

モダン寺仏教講座

「お香はお浄土の香り」

そもそも仏教が説かれた、約紀元前5世紀のインドは、熱帯な氣候で衛生環境も悪く、体臭を防ぐためにお香が使われておりました。また、身を清めるといった意味も含むようになっていきました。

加えて、浄土真宗ではどの人の元にも分け隔てなく香りが行き渡る様から、仏さまのお慈悲を表します。また、ご自宅のお仏壇は、お浄土の様子を表すものですから、お香の香りはお浄土の香りに見立てられます。

【お線香は寝かせて使う】

京都の本山、本願寺の台付きの香炉（常香盤という）は、香炉の中に溝を蛇行するように掘って、そこに抹香を入れます。そして端から燃香することで一日中燃え続けるように工夫されています。

一般家庭ではその代わりに線香が用いられます。そのため、線香を入れるときは、必ず立てずに向きに置きましよう。





照徳寺にて、尾井元副輪番を囲んで

仏教婦人会研修旅行

昨年、10月27日（火）、神戸別院仏教婦人会研修旅行が開催されました。行先は、丹波地方で、氷上西組照徳寺（本願寺神戸別院元副輪番・尾井秀瑛氏ご住職）に参拝をいたしました。皆さん、照徳寺への参拝をとっても楽しみにされておられ、到着後は、尾井ご住職よりご法話を頂戴いたしました。ご法話後は、皆さんで一緒にお昼を囲み、ご住職や坊主さんとのお話がはずみしました。会員の皆さんの笑顔が印象に残る研修旅行となりました。



仏教婦人会の皆さま

本願寺神戸別院 仏教壮年会・仏教婦人会 会員募集中

お問い合わせは各担当者まで
078-341-5949(代)



仏教婦人会入会のご案内

本願寺神戸別院では、仏教婦人会会員を募集しております。

神戸別院仏教婦人会の主な活動は、毎月7日の定例法座や奉仕活動（春秋の彼岸会にて、おはぎ・ぼた餅のご接待、暁天講座での朝粥のご接待など）、毎年秋には会員相互の親睦をかねての研修旅行を開催するなどの積極的な法要や諸行事にご参加をいただいております。

神戸別院仏教婦人会の活動を通して、共々にお念仏申させていただく尊いご縁を結ばせていただきませんか。皆さまのご入会を心よりお待ちしております。



おはぎ作りの様子

仏教壮年会 会員募集中

神戸別院の仏教壮年会の会員募集についてお知らせいたします。

仏教壮年会は、毎月16日午前10時から「仏教壮年会月例の集い」を開催しております。ここでは、会員自らテーマを出し合い、親鸞聖人のみ教えについて勉強会をしています。

また、会員相互の親睦を深めることもかねて、御旧跡をめぐる研修旅行や会員自らが勤めする報恩講などを企画・運営しております。

当別院の仏教壮年会は、年齢制限はございません。普段から疑問に思うこと、仏さまや親鸞聖人のことについて、ともに語り合いませんか。皆さんのご参加をお待ちしております。



親鸞様のお像をお身ぬぐい

本願寺神戸別院行事予定

四月

第一土曜仏教講座

2日(土) 午後1時半より

◆講師◇本願寺史料研究所委託研究員
岡村喜史師

仏教婦人会定例法座

7日(木) 午後1時半より

◆講師◇阪神東組安養寺
芦谷嘉久師

土曜講座

4月の法座は常例法座と重なるため
休座となります

常例法座

15日(金) 午後1時半より
16日(土)

◆講師◇姫路中組法性寺
池本史朗師



五月

第一土曜仏教講座

7日(土) 午後1時半より

◆講師◇京都教区下東組正光寺
大八木正雄師

仏教婦人会定例法座

5月の法座は休座となります

常例法座

15日(日) 午後1時半より
16日(月)

◆講師◇揖龍東組善導寺
天野真隆師

土曜講座

21日(土) 午後1時半より
担当職員 岡橋大誠

宗祖降誕会

22日(日) 午後1時より
◆講師◇揖龍東組浄蓮寺
竹内俊之師

●宗祖降誕会修行

五月二十二日(日)は、浄土真宗の
ご開祖、親鸞聖人のお誕生日です。

本堂でのおつとめに先立ち、前庭の
親鸞聖人像の前でおつとめする少し特
別な法要です。

また、今年も兵庫大学茶道部の皆
さまに、お抹茶のご接待をいただきま
す。当日はぜひ神戸別院までご来院下
さい。

Ⅱ編集後記Ⅱ

春といえば桜が咲く季節です。道端
に桜の木を植えればいいのと言った
子どもの頃を思い出します。

今になって調べてみれば、①桜が咲く
期間は一週間程度、②それ以外の季節
はあまり見栄えがしない、③腐らせない
ため枝は切らず伸び放題、④おまけに
毛虫も多いと、なかなか守っていくの
が大変な木であることを知りました。

私たちがお念仏称えても桜のよう
に続くのは短い間だけ。口をつくのは
愚痴ばかり。阿弥陀さまはいつも私た
ちを見守ってくださいますが、そんな
人間は自分勝手であることに気づかさ
れます。

私たちが桜に咲いていてほしいと願
うように、阿弥陀さまも私たちに、念
仏称えていてほしいと願ってください
ます。

(編者)

◆お知らせ◆

土曜講座変更について

職員が行う土曜講座は
毎月第3土曜日の
月1回となります。

毎週土曜日(第一土曜日を除く)
に職員が行っていましたが「土曜講
座」ですが、今年4月より月1回、
第3土曜日のみの開講となります。

ただし、恒例法要や常例法座と重
なる場合は休座となります。
ご参拝お待ちしております。

第一土曜仏教講座は例年通り
開催いたします。

毎月行っております「第一土曜仏
教講座」は例年通り行います。こち
らは、毎月様々な講師にご出向い
ただいてご講演いただきます。

日程変更

土曜講座

開催日 毎月第3土曜日
午後1時30分から
午後3時30分まで
(法要と重なる場合は休座)
場 所 院内
当日1階の掲示板にて
告知致します。